

ワーク&ライフ

看護師の勤務

2交代制拡大 過酷な16時間

病院で働く看護師の勤務で、長時間の夜勤がある「二交代制」が広がっている。連続十六時間勤務になる場合もあるため、日本看護協会が「長時間勤務は医療安全や看護師の健康へのリスクがある」と、厚生労働省に長時間夜勤の是正を求めるなど、二交代制拡大に歯止めをかけようとする動きも活発だ。

(佐橋大)

二交代の導入で肉体的、精神的にきつくなり、多くの看護師が辞めていきました。名古屋市内の民間病院に勤める五十代のベテランの女性看護師は振り返る。

以前は、緊急・重症



看護師の長時間夜勤の弊害について学ぶ労働組合の勉強会。名古屋市中区で

hataraku@chunichi.co.jp

厚労省に是正求める協会

な状態にある患者が入院する三十余床の急性期病棟を、夜間は準夜勤、深夜勤の各二人でカバーする二交代制だった。四年前、病院側の提案で、夜勤二人が一晩、カバーする二交代制になった。夜勤の頻度は月八回程度から四回ほどに減ったが、密度が格段に濃くなった。夕食、朝食休憩のほか一時間の休憩がある前提だが、休めることは少ない。「休憩の間、病棟の看護師は一人。ナースコールや容体の急変があれば休んでいられない」十六時間勤務の後には、看護記録の作成など残業に追われる。午

3交代と2交代の勤務時間設定の例



現状の無理なシフトが拍車

前十時に帰れば早い方で、疲労は蓄積するばかり。しかも二交代制になって体調を崩す看護師が増え、カバー代なら準夜勤の残業代で夜勤の回数は月五、六回に増えていった。入院期間の短縮化で患者の入れ替わりが激しくなったことも、看護師の負担増になっているという。看護師の間では、夜勤を三人に増やす意見も出たが、病院は体制を見直していないという。

日本看護協会の調査では、二交代制の看護師の割合は、二〇〇一年の18%から、〇五年24・7%、〇九年29・4%と増えている。一〇年の調査では、二交代制で働く看護師の九割近くが、十六時間以上働いていた。このような長時間夜勤は欧米にはないという。愛知県医療介護福祉労働組合連合会(医労連)の西尾美沙子書記長は「最近では、民間病院から自治体病院へ二交代制が広がっている。病院が導入したがるのはコスト圧縮のため」と指摘する。準



日付が変わった午前零時すぎから再び深夜勤務に入る。勤務終了から次の勤務まで八時間足らず。西尾さんによると、残業の慢性化で勤務間隔はさらに短くなり、日勤から深夜勤務へ連続で働くケースもある。二交代なら少しはましになるかも、と看護師側も期待してしまっている。二交代制での勤務環境悪化も背景に拡大する二交代制。最近では、その弊害を説く意見が目立つ。看護師の労働実態に詳しい労働科学研究所の佐々木司・主任研究員は「二交代制は、夜間勤務中の眠気が三交代より強い。患者さんにとって危険な勤務形態」と指摘する。

日本看護協会は五月、「二交代勤務者の離職意向は三交代勤務者より高い」との調査結果を示し、就労継続のため、夜勤の長時間労働の是正を目指す姿勢を鮮明にした。

協会は長時間夜勤とともに、看護師の負担感が強い三交代制の勤務間隔の短いシフトも問題視。厚労省に対して六月、看護師の勤務の質改善に向け、支援を求めた。

「はたらく」取材班



【意見や情報は、連絡先(住所不要)中日新聞生活部0121(2626)52804